

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：事務局

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第7回 防災・あんしん部会				
(2) 開催日時	令和6年1月10日(水) 13:30 ~ 15:30				
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター A棟5階多目的室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委 員 (部会長：志村 陽子) <敬称略>				
	一色 ふみ子	宇田尻 浩司	栗田 修平	生駒 友一	北島 拓也
	窪田 千亜紀	西條 由美子	蛭子 明子	近藤 博子	山内 京子
	小池 美津代	福田 美和			
	事務局：森合 美穂、秋山 仁志、檜山 咲紀、江川 奈保美、堀内 蘭				
1 連絡・確認事項					
(1) 司会・書記の確認(司会：一色委員、書記：北島委員)					
(2) 参加者・配布資料の確認 欠席者 名川委員、石塚委員、栈敷委員					
(3) 大田区自立支援協議会運営会議の報告					
2 前回の専門部会の振り返り					
・第6回専門議事録 ご意見カード集約					
・「まちあるき」まとめ					
事務局から前回の議事録を読み上げ、各グループのまとめを報告。その後、各グループのまとめマップを各自が自由に閲覧。					
3 議題					
(1) あんしんカフェの実施に向けて					
1) 全体交流会、他専門部会の情報提供					
・志村部会長より、資料「カフェ型トークをしよう！」を用いてワールドカフェ形式の紹介。また、各自が新聞記事を持ち寄って模造紙に貼っていく形式を紹介。					
・事務局より、自立支援協議会全体交流会のアンケート結果について報告。交流会は月曜日の午前だったこともあり、参加者数が少なかった。相談支援部会で開催した「相談つながるカフェ」の開催報告。部会委員以外にも各種の相談員などを含め50名近くが参加した。各自の紹介に時間がかかり、意見交換に十分時間を取れないという課題が残った。一方、普段知り合えない人と名刺交換できたのは収穫だった。					
2) カフェの内容の検討					
防災・あんしん部会で次年度にどのようなカフェを開催したいかについて、2グループに分かれて意見交換を行なった。					
・Aグループ					
前回開催したカフェの内容が良かったので、その温かい雰囲気や楽しく話すというコンセプトは次回も重視したい。暮らしの中での、一人の生活者としての視点は大事であり、同様のテーマを続けるのも良い。場所はさぼーとびあで開催するイメージで、メンバーは自立支援協議会の部会委員に町会などからスペシャルゲストが加わるのも良い。誰かに話題提供してもらい、その後カフェを行なっても盛り上がりそう。区報の好きな記事を持ち寄るなど、ゲームのようにツールとして使える良さそう。区報を作っているのが広報課で、どうやって作っているか話題提供してもらうなど。区報に載せてもらえば参加者を募れるかもしれない。					
・Bグループ					
カフェのテーマとしては、「そもそも権利擁護ってどんなこと？」や「孤立を防ぐために心がけていること」というテーマが上がった。その中で、困りごとに対して橋渡ししたくても個人情報保護が壁になる場合もあり、「個人情報をどう考えている					

か」について他の人の考えを聞くことは良いだろう。また、日々の中で「少し我慢していることや心の奥に押し込めていること」も聞いてもらうことでスッキリするかもしれない。メンバーは、民生委員や警察・消防、福祉の勉強をしている学生、まちあるきに来てくれた社協の地域福祉コーディネーター、ボランティア、まちづくりに関わる人などを、委員から誘いたい。いくつかの小さなグループで話すのが良い。オープンカフェのように何時から何時まで開いている、というやり方もあるという情報提供もあった。

事務局よりまとめ。テーマは複数上がったので事務局で精査し、実際の方法は作業部会で詰めていく。身近な地域の人などを誘うのが共通の希望としてあったので、どんな人が良いかを考えていく。

4 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 情報提供

・志村部会長より

再犯防止に関する学習会のお知らせ「更生支援における『協働モデル』の実現に向けた試論～再犯防止をやめれば再犯は減る～」という考え方について

1月20日（土） 18時30分から20時30分

大田区障がい者総合サポートセンターA棟5階多目的室

・石塚委員より 「災害関連死の防止に向けて必要な対策を！」

跡見学園女子大学教授／（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事 鍵屋一

(2) ご意見カード記入

※次回の日程

専門部会：令和6年2月7日（水）13時30分～15時30分 さぼーとぴあA棟5階多目的室